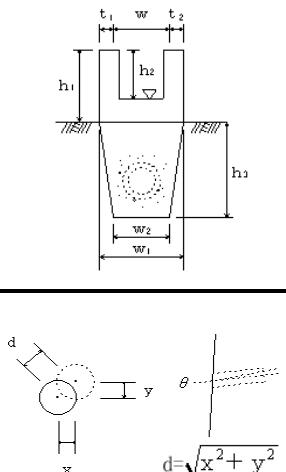
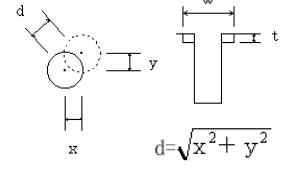


出来形検査基準規格値(mm)						
番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 砂防堤 第3節 作工	第1-3-4 鋼製堰堤仮設材製作工	部材長 ℓ (m)	$\pm 3\cdots \ell \leq 10$ $\pm 4\cdots \ell > 10$	図面の寸法表示箇所で、任意の部分を測定。		規格値の ℓ に代入する数値はm単位の数値
第8節 コンクリート堰堤 堤工	第1-8-4 コンクリート堰堤本体工 コンクリート副堰堤工	基準高▽ 大端部 w_1, w_3 堤幅 w_2 水通りの幅 ℓ_1, ℓ_2 堤長 L_1, L_2	±30 -30 ±50 -100	図面の寸法表示箇所で、任意の部分を測定。		
第9節 鋼製堰堤 堤工	第1-8-6 コンクリート側壁工	基準高▽ 幅 w_1, w_2 長さ L	±30 -30 -100	図面の寸法表示箇所で、任意の部分を測定。 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		
	第1-8-8 水叩工	基準高▽ 幅 w 厚さ t 延長 L	±30 -100 -30 -100	図面の寸法表示箇所で、任意の部分を測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		
第12章 流路	第1-9-5 鋼製堰堤本体工 (不透過型)	堤高▽ 水通り部 下流側倒れ△ 袖高▽ 袖部 下流側倒れ△	±50 ±100 ±50 ±0.02H ₁ ±50 ±50 ±0.02H ₂	図面の寸法表示箇所で、任意の部分を測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		
	第1-9-6 鋼製側壁工	堤長 L 格 堤長 ℓ 格 $B \cdot L$ 堤幅 W 格 堤幅 w 格A・B・L 高さ H 格A・B・L	±50 ±10 ±30 ±10 ±10	図面の寸法表示箇所で、任意の部分を測定。		格:格子型鋼製砂防ダム A:鋼製スリットダム A型 B:鋼製スリットダム B型 L:鋼製スリットダム L型
	第2-5-8 魚道工	基準高▽ 幅 w 高さ h_1, h_2 厚さ t_1, t_2 延長 L	±30 -30 -30 -20 -200	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による。		

番号		工種	測定項目	規格値	出来形検査基準規格値(mm)	測定箇所	摘要
第3章 斜面対策	第6節 山腹水路工	3-6-4 山腹明暗渠工	基 準 高 ▽	±30			
			厚 さ t_1, t_2	-20			
			幅 w	-30			
			幅 w_1, w_2	-50			
			高 さ h_1, h_2	-30			
			深 さ h_3	-30			
			延 長 L	-200			
第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工		削 孔 深 さ \varnothing	設計値以上	3本につき1箇所以上測定。		
			配 置 誤 差 d	100			
			せん孔方向 θ	±2.5度			
	3-7-5 集水井工		基 準 高 ▽	±50	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。		
			偏 心 量 d	150			
			長 さ L	-100			
			巻立 幅 w	-50			
			巻立 厚 さ t	-30			
止第9節 杭工節扣	3-9-6 合成杭工		基 準 高 ▽	±50	10本につき1箇所以上測定。		
			偏 心 量 d	D/4以内 かつ100以内			

番号		工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第 1 章 コ ン クリ ー ト ダ ム	第 4 節 ダ ム コ ン クリ ー ト エ ク ス	コンクリートダム工 (本体)	天端高 ▽	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の 測定方法は、検査員の指示による。 監査廊の數高、幅、高さ、平坦性等の測 定方法は、検査員の指示による。		
			天端幅	±20			
			リフト高	±50			
		コンクリートダム工 (水叩)	天端高 ▽	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所で測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示 による。		
			ジョイント間隔	±30			
			幅	±40			
		コンクリートダム工 (副ダム)	長さ	-100, +60			
			天端高 ▽	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所で測定。		
			ジョイント間隔	±30			
			リフト高	±50			
			堤幅	-30, +50			
			堤長	±40			

J:ジョイント

出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 コンクリートダム	第4節 ダムコンクリート工	コンクリートダム工 (導流壁)	天端高▽ ジョイント間隔 リフト高さ 長さ 厚さ	±30 ±20 ±50 ±100 ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。	
第2章 フィルダム	第3節 盛立工	コアの盛立	基準高▽ 外側境界線	設計値以上 -0, +500	5測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピングローラ)の場合。	
	2-3-6	フィルターの盛立	基準高▽ 外側境界線 盛立幅	-0 -0, +1000 -0, +1000	5測点につき1箇所以上測定。	
	2-3-7	ロックの盛立	基準高▽ 外側境界線	-100 -0, +2000	5測点につき1箇所以上測定。	
	2	フィルダム (洪水吐)	基準高▽ ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ 長さ	±20 ±30 ±20 ±40 ±20 ±100	図面の寸法表示箇所で、任意の部分を測定。	
第3章 基礎グラウチング	第3節 ボーリング工	ボーリング工	深度L 配置誤差	設計値以上 100	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。	